



報道機関各位



平成29年 7月24日
室蘭開発建設部 広報官

「平取ダム定礎式」を開催します

～地域の皆様とともにダムの永久堅固と安泰を願います～

室蘭開発建設部では、平取ダムの基礎が立ち上がったことを記念するとともに、ダムの本格的な築造に際し、礎石をそえてダムの永久堅固と安泰を地域の皆様とともに願う「定礎式」を下記のとおり開催します。

記

- 1 日時 平成29年7月30日（日） 10時30分～11時30分
- 2 場所 平取ダム堤体建設工事敷地内（北海道沙流郡平取町字芽生）
- 3 概要 別紙1-1～3のとおり
- 4 その他 工事敷地内は事前に案内した車両以外の入場を制限しております。
当日の取材に当たっては、事前に別紙2により広報官まで申込みをお願いします。

当日は次の行事も開催されますので、お知らせします。

- ・祝賀会 時間 12時45分～13時45分
主催 平取町・平取ダム建設促進期成会
場所 平取町中央公民館 大ホール（沙流郡平取町本町88番地1）

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部

（式典に関する問合せ先）

沙流川ダム建設事業所 副長 梅木 幸治（01457-2-2111）

（当日の取材に関する問合せ先）

広報官 工藤 明人（0143-25-7051）

室蘭開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/mr/>



平 取 ダ ム 定 礎 式 概 要

- 1 日 時 平成29年7月30日（日）10時30分～11時30分
- 2 場 所 平取ダム堤体建設工事敷地内（北海道沙流郡平取町字芽生）
- 3 主 催 北海道開発局室蘭開発建設部
- 4 主な出席予定者
国会議員、北海道知事（代理出席予定）、北海道議会議員、平取町長、日高町長、各町議会議員、地元関係団体などの約150名

5 式典次第

- (1) 開 式
- (2) 式 辞
- (3) 挨拶
- (4) 工事報告
- (5) 祝 辞
- (6) 来賓紹介
- (7) 祝電披露
- (8) 定礎の儀
 - ① 礎石搬入
 - ② 定礎宣言
 - ③ 鎮定の儀
 - ④ 齋鍔の儀
 - ⑤ 齋槌の儀
 - ⑥ 埋納の儀
- (9) 万歳三唱
- (10) くす玉開披
- (11) 閉 式

＜参考：定礎の儀について＞

○鎮定の儀

礎石を固めるため、コンクリート材料を礎石の周りに入れます。これからの工事に筋道をつける意味があります。

○齋鍔の儀

鎮定の儀により礎石のまわりに入れられたコンクリート材料を鍔でならします。鎮定の儀でつけられた道筋をならす意味があります。

○齋槌の儀

槌を用いて礎石をしっかりと納めます。齋鍔の儀でならされた道筋をさらに強固なものにする意味があります。

○埋納の儀

クレーンで搬入したコンクリートを礎石の上に投入し、振動機で締め固め、礎石と堤体を一体となるよう埋め込みます。

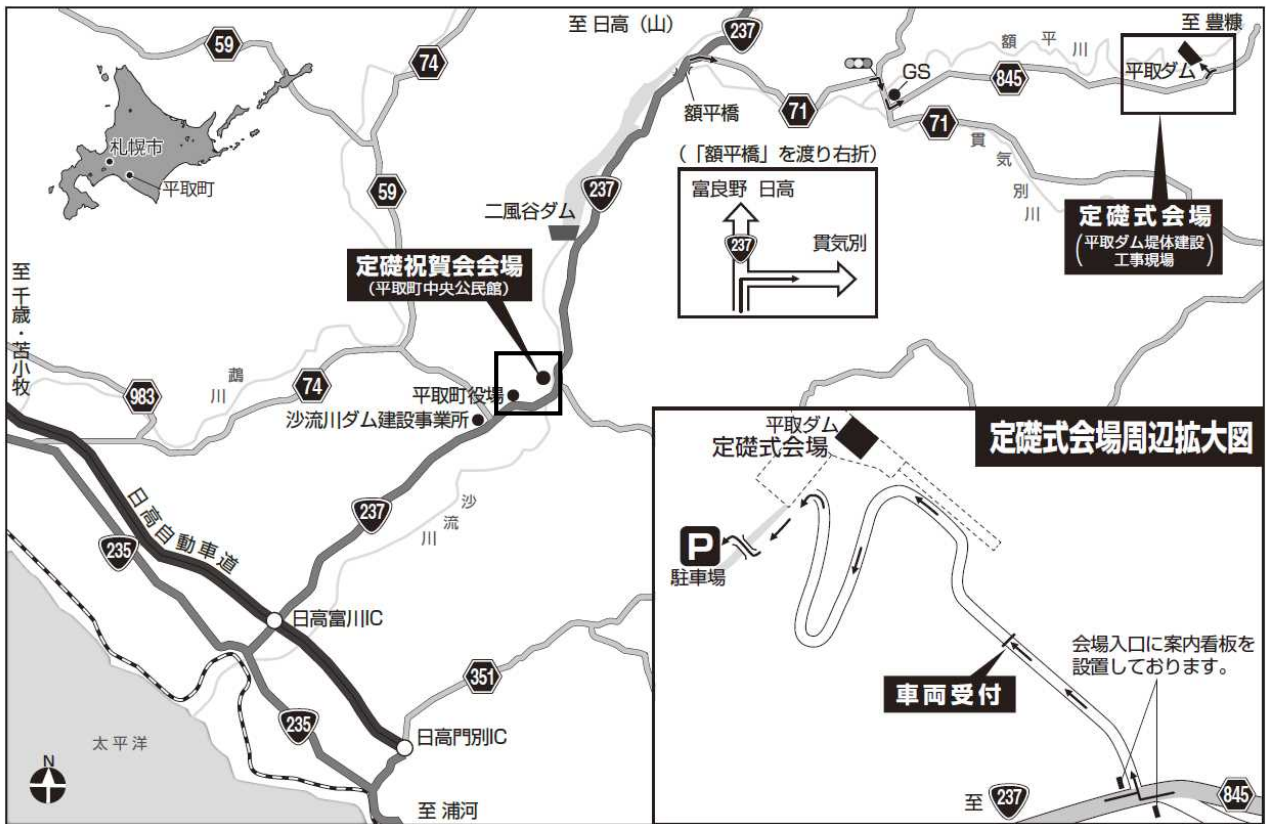


「鎮定の儀」の例

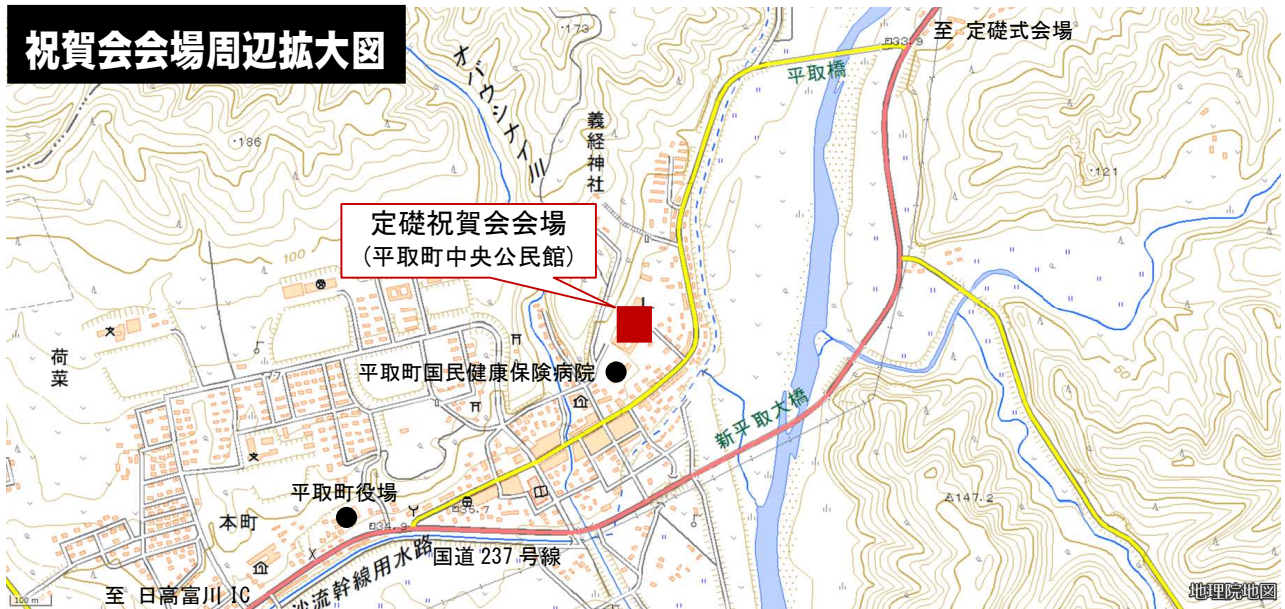


「埋納の儀」の例

会場ご案内



祝賀会会場周辺拡大図



平取ダム建設工事の概要

- 場 所 北海道沙流郡平取町字芽生（沙流川水系額平川）
- 目 的
 - ・ 洪水調節
 - ・ 流水の正常な機能の維持
 - ・ 水道用水の供給（平取町、日高町）
- 諸 元 型式 重力式コンクリートダム
 - 堤 高 56.5m
 - 堤頂長 350m
 - 総貯水容量 4,580万 m^3
- 経 緯
 - 昭和48年 沙流川総合開発事業の実施計画調査に着手
 - 昭和57年 沙流川総合開発事業として建設事業着手
 - 平成10年 二風谷ダム完成
 - 平成19年 平取ダム付替道路工事着手
 - 平成25年 平取ダム本体工事着手

※沙流川総合開発事業は、沙流川に二風谷ダム、支川の額平川に平取ダムの2つの多目的ダムを建設する事業です。



『平取ダム定礎式』取材申込み

送付先：FAX 番号 0143-22-1264

お名前	ご所属	ご連絡先

※大変申し訳ありませんが7月27日（木）12時00分までに申込みください。

※本申込みに記載されている情報は、室蘭開発建設部が取材の相手方を確認する以外には使用しません。